vinetur

スペインのホテル価格、10月は前年比7.4%上昇に加速

延べ宿泊数は1.6%増の3,470万泊となり、客室供給1室当たり収入は93.9ユーロに上昇

2026年11月23日（月）



スペインのホテル業界では、宿泊数が小幅に伸びる一方、価格上昇が加速する状況が続いた。10月の延べ宿泊数は3,470万泊を超えたが、ホテル料金の上昇率は需要の伸びを大きく上回った。

スペイン国立統計局（INE）は11月23日（月）、月次のホテル観光調査の速報値として、10月のホテル延べ宿泊数が前年同月比1.6%増加したと発表した。伸び率は、9月に記録した前年比1.7%をわずかに下回った。

一方、10月のホテル価格指数は前年同月比7.4%上昇した。9月の上昇率6.7%から加速し、価格上昇のペースは0.7ポイント高まった。

数値は、実際の需要と価格設定の間に引き続き隔たりがあることを示している。ホテルの延べ宿泊数は伸びたものの、その幅は小さかった一方、客室価格ははるかに速いペースで上昇した。この動きが業界全体の収入を押し上げた。

INEによると、10月の客室稼働1室当たり平均収入は130.4ユーロとなり、前年同月比7.9%増加した。価格と稼働率の両方を反映する、より広範な指標である客室供給1室当たり収入は9.0%増の93.9ユーロだった。2025年10月の同指標は86.1ユーロで、ホテルの客室供給1室当たり収入は前年より7.8ユーロ増えたことになる。

同局によると、1月から10月までの延べ宿泊数は、2025年の同じ期間と比べて1.5%増加した。2026年も市場は拡大を続けているものの、そのペースは緩やかであることが分かる。

10月のデータはスペインのホテル市場全体を対象とし、INEの月次ホテル観光レポートの一部として公表された。同レポートは実際の需要を示す指標として延べ宿泊数を追跡し、ホテル価格と客室収入も名目ユーロで掲載している。

最新の数値からは、スペインのホテル業界の収入増加は、宿泊客数の大幅な増加よりも、主に料金の上昇に支えられていることがうかがえる。延べ宿泊数の伸びが小幅にとどまり、価格上昇が加速するなか、需要の伸びは9月から鈍化したものの、業界収入は増加した。